

平成28年度函館市地域包括支援センター事業評価 評価結果

函館市地域包括支援センターたかおか

1. センターの概要(平成28年4月1日現在)

センター所在地	函館市高丘町3番1号 サテライト百楽園内			担当圏域	東央部第2
圏域の人口	25,470人	圏域の高齢者人口	9,437人	圏域の高齢化率	37.1%
職員数	保健師 2人, 社会福祉士 2人, 主任介護支援専門員 1人, その他 2人(配置基準職員 5人)				

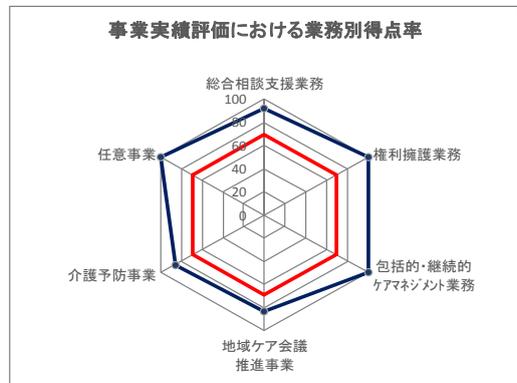
2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務について、関係機関とのネットワーク構築が意図的、戦略的に行えなかったという課題がある。相談対応について、職員のスキルの差を課題と捉え、ミーティング等により資質向上をめざした結果、個々の職員の差はあるが、全体的にスキルアップできたと評価している。 権利擁護業務について、困難事例は全職員で対応しているが、権利擁護の視点については、職員による差がある。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターでの経験年数が長い職員が多く、各事業の取り組みに問題はないと評価する。 職員のスキルアップに向け、個々の職員の課題を的確に捉え、チームアプローチやミーティングでの検討を通じたフォロー体制を整備することにより、職員全体のスキルアップが図られていると評価する。

3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上) B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満) C 改善を要する(50%以上69%未満) D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務について、地域とのネットワーク構築では、町会数が多いため町会行事等への参加は難しいが、広報紙を持参するなど、地域とつながるための取り組みは積極的に行えた。利用者基本情報作成数が少ないことが課題だったが、毎月声掛けを行うなどして作成数の増加につながった。 地域ケア会議について、個別ケースの検討を行う地域ケア会議では、センター職員が担当しているケースのみとなったため、今後は地域のケアマネジャーの担当するケースについても検討を行いたい。地域課題の検討を行う地域ケア会議では、「地域のなかでできる事を考える」という目標を達成することが出来た。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務のネットワーク構築については、町会数が多いなか、偏りなくつながりをもてるよう、工夫した取り組みが行っていると評価する。課題としていた実態把握についても、意識的に取組みを行い、計画数値は達成できなかったものの、作成数が増加したことを評価する。 全般的に、出前講座の対象者に偏りがあることから、今後も出前講座開催に向けた取り組みを広く実施していただきたい。

4. 運営体制評価

- 年度当初、事務職員を配置できない期間があったが、継続勤続年数の長い管理責任者の配置などセンター事業を円滑に実施できる体制が概ね確保されている。
- 現場の要望も踏まえ職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- 外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- 同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営を行っているとして評価する。

5. 総評

センターにおいては、各分野全般にわたってバランス良く事業が実施できており、運営法人も職場環境を整えるなど、その実施体制の充実を図っている。

職員の自己評価が全体的に低い傾向にあるが、センターとしての課題を的確に捉え、課題解決に向けて個々の職員が計画的に業務に取り組んでいると評価する。

今後は、個々の職員のスキルの差をうめる取り組みをさらに行っていただくことを期待する。